

1991. 7. 31

內務委員會

主要業務報告

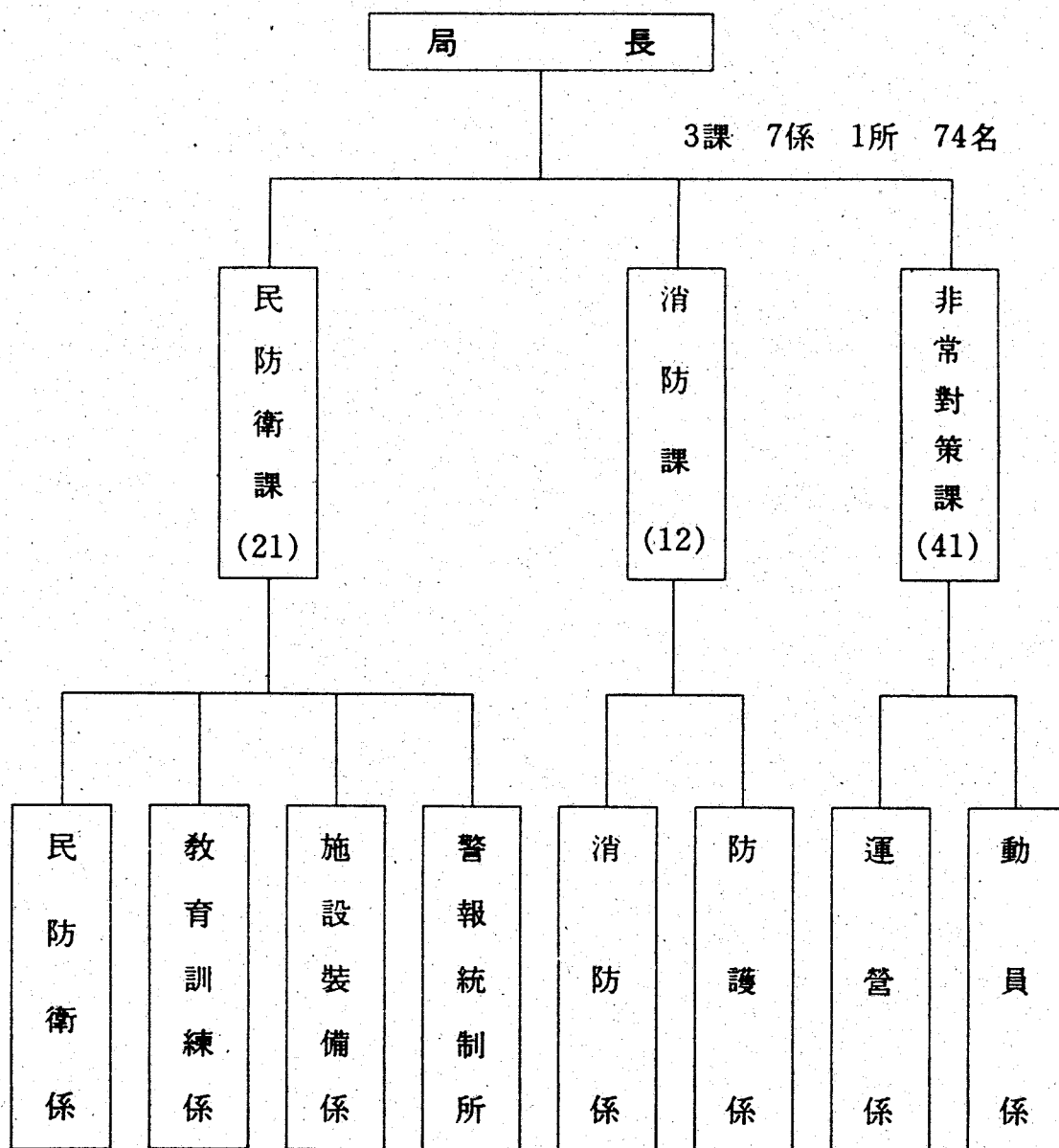
民防衛局

目 次

I. 基本現況	2
1. 機構 與 定員	2
2. 主要任務	3
3. '91 豫算	3
II. 主要業務	4
1. 民防衛隊 編成運營	5
2. 民防衛教育訓練	7
3. 住民申告網 運營	8
4. 民防衛施設 裝備 擴充	9
5. 民防衛警報施設 運營	10
6. 化生放防護能力 提高	11
7. 消防力 補強	12
8. 火災豫防	13
9. 火災鎮壓態勢 確立	14
10. 忠武計劃 樹立	15
11. '91乙支演習	16
12. 動員資源 管理	17

基本現況

1. 機構 及 定員



2. 主要任務

民防衛課

- 民防衛計劃樹立
- 民防衛隊編成 및 教育
- 住民申告網組織管理

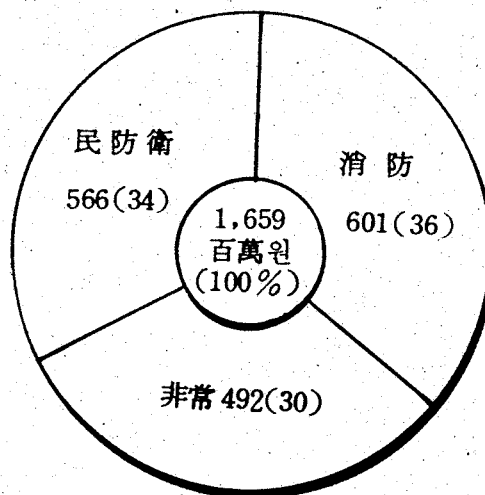
消防課

- 消防行政基本計劃樹立
- 消防力補強 및 人力管理
- 火災豫防 및 鎮壓

非常對策課

- 忠武計劃調整統制
- 政府演習實施 및 統制
- 動員資源管理

3. '91 豫算



* 道豫算의 0.6%

主 要 業 務

民防衛隊 編成

□ 基本現況

○ 沿 革

- '75. 7. 25 民防衛 基本法 制定
- '75. 9. 22 民防衛隊 發隊

○ 編成對象

- 義務者：20 ~ 50歲 男子
- 志願者：17歲 以上 男女中 編成 希望者
- * 除外者 → 警察, 軍人, 豫備軍, 學生, 議會議員 等

○ 民防衛隊 任務

- 平常時
 - 民防衛 事態對備 申告網 管理運營
 - 民防衛施設 吳 裝備管理
 - 民防衛 教育訓練
 - 民防衛 事態 豫防
- 有事時
 - 警報傳播, 住民統制 吳 疏散
 - 人命救助 吳 醫療, 消火 活動
 - 被害施設物 緊急復舊
 - 軍事作戰 勞力支援

○ 民防衛隊 編成	4,428隊	149,351名
・ 地域民防衛隊	3,920	118,556
・ 職場民防衛隊	494	29,691
・ 技術支援隊	14	1,104

☐ 方 針

- 徹底的 點檢整備로 資源漏落 防止
- 事態對應 能力爲主로 重點 點檢 指導
- 豫想災難 積極 對處로 被害의 最少化

☐ 推 進

- 資源整備의 날 運營 12回 / 6回
- 民防衛隊 檢閱 1,456隊 / 620隊
- 示範民防衛隊 育成 422隊
- 機動隊 運營 1,916隊

民防衛教育 訓練

- | | | |
|-----------------|------|-------------|
| ○ 民防衛 精神 戦力の 強化 | ———— | 自由 民主 理念 守護 |
| ○ 災難對備 實技訓練의 擴大 | ———— | 事態收拾能力의 培養 |
| ○ 民防衛 核心要員으로 育成 | ———— | 災難收拾技術水準向上 |

□ 方 針

- 實技實習 訓練의 內實化
- 民防衛 専門要員 養成
- 民防衛 事態 收拾 能力 提高

□ 推 進

○ 民防衛 教育

- | | | | |
|-------------|--------|---|--------|
| ・ 一般隊員（上半期） | 61,649 | / | 60,383 |
| ・ 技術支援隊員 | 745 | / | 717 |
| ・ 民防衛隊長 | 4,414 | / | 4,412 |

○ 民防衛 訓練

- | | | | |
|-------------|----|---|------|
| ・ 民防衛의 날 訓練 | 8回 | / | 4回 |
| ・ 非常召集 訓練 | 3 | / | 2 |
| ・ 夜間燈火管制訓練 | 1 | / | 8月實施 |

住民申告網 運營

□ 現 況

○ 組 織	22,314個網
・ 基本申告網	13,569
・ 移動申告網	3,477
・ 固定申告網	3,818
・ 特別管理網	1,450

□ 方 針

- 犯罪自律申告 雰圍氣 造成
- 教育訓練을 통한 監視 能力 提高
- 地域 把守隊로서의 使命感 鼓吹

□ 推 進

○ 住民自律申告 畚 造成	
・ 글짓기 大會	1回 / 1回
・ 雄辯大會	1回 / 1回
○ 住民申告 模擬 訓練	2回 / 1回
○ 住民申告 要員 教育	2回 / 1回

民防衛施設裝備 擴充

□ 現 況

○ 待 避 施 設	2,040個所	102千坪
○ 非 常 給 水 施 設	1,176個所	48千톤
○ 民 防 衛 裝 備	18種	21千點

□ 方 針

- 待 避 施 設 : 民間施設로 擴充
- 非 常 給 水 施 設
 - ・ 支 援 事 業 : '88 ~ '97年次 事業으로 推進
 - ・ 民 間 施 設 : 集團地域 施設 勸獎
- 民 防 衛 裝 備 : 支援 및 自律確保 勸獎

□ 推 進

- 非 常 給 水 施 設 : 1,000톤 / 일 (忠州市)
 - ・ 事 業 費 : 76百萬원
 - ・ 推 進 工 程 : 30%
- 매 가 폰 : 80臺
 - ・ 事 業 費 : 3,200千원
 - ・ 推 進 : 40臺

民防空警報施設運営

☐ 現 況

○ 管理體系

- ・ 統 制 所 : 1個所 (道)
- ・ 受信端末 : 21個所

○ 警報 傳達 體系

- ・ 現 行 施 設 : 有線 警報 施設
- ・ 推 進 : 無線自動化施設 ('89 ~ '92)

☐ 方 針

- 邑以上 地域 民防空 警報 施設 設置
- 常時 狀況 維持 管理
- 警報施設の 定期 點檢 整備

☐ 推 進

- 事 業 名 : 民防空警報無線自動化事業
- 期 間 : '89. 9 ~ '92. 1 (28個月)
- 事 業 費 : 151百萬円
- 施 工 者 : 金星情報通信(株)
- 工 程 : 50%

化生放防護能力提高

□ 現 況

○ 化 生 放 分 隊	642個隊
• 技 術 支 援 隊	14
• 職 場 隊	494
• 地 域 隊	134
○ 化 生 放 裝 備	53,957點
• 個人裝備(防毒面)	34,885個
• 分隊裝備(探知키트外 7種)	19,072點

□ 方 針

- 化生放分隊 防護 組織 및 機能 補強
- 實習 爲主 教育으로 化生放戰 對備
- 必須 基本 裝備의 段階的 擴充

□ 推 進

○ 化生放 教育	5,151名/9月中
○ 化生放 防護 訓練	8回/4回
○ 化生放 裝備 補強	
• 個人裝備(防毒面)	3,640個/1,658個
• 分隊裝備(探知키트外 7種)	2,376點/1,515點

消 防 力 補 強

□ 現 況

○ 消 防 官 署	17個所
• 消 防 署	3
• 派 出 所	14
○ 消 防 公 務 員	350名
○ 消防裝備 保有	166臺
○ 消防用水 施設	1,037個所

□ 方 針

- 邑單位 吳 農工團地 造成地域 消防官署 年次的 設置('93年限)
- 消防裝備 現代化로 自治消防 力量 強化
- 消防用水 施設의 段階的 補強

□ 推 進

- '91消防官署 設置
 - 消 防 署 1個所 (永同)
 - 派 出 所 3個所 (永同, 陰城, 鎮川萬升)
- 消防 公務員 增員 74名
(新設官署 46名, 導入裝備操作要員 28名)
- 消防裝備 補強 16臺 (1,292百만원)
- 消防 用水施設 增設 26個所 (77百만원)

火 災 豫 防

☐ 現 況

- 大型火災 脆弱對象 167個所
- 一般消防對象物 7,745個所
- 危險物 製造所等 1,844個所

☐ 方 針

- 消防 安全管理 指導強化
- 自律火災豫防 態勢確立
- 危險物 製造所等 安全管理 指導強化

☐ 推 進

- 火災 脆弱對象 合同消防安全診斷
 - ・ 時 期 : 3月, 9月 (年 2回)
 - ・ 對 象 : 167個所
 - ・ 診斷班編成 : 消防, 電氣, 建築, 가스분야 合同
- 自律火災豫防 體制定着
 - ・ 火災豫防 責任制 實施: 施設主, 防火管理者 및 危險物取扱主任
 - ・ 自體防火點檢 및 整備: 防火管理者
- 危險物 製造所等 消防檢查
 - ・ 時 期 : 4月, 10月 (年 2回)
 - ・ 對 象 : 1,844個所
 - ・ 點檢班編成 : 消防檢查 資格所持者

火災鎮壓態勢確立

☐ 現 況

- 消 防 人 力：4,650名
 - ┌ 消防公務員：350名
 - └ 義勇消防隊：141個隊 4,300名
- 職場自衛消防隊：1,232個隊 97,106名

☐ 方 針

- 消防公務員 鎮壓要員 精銳化
- 義勇消防隊 鎮火能力 強化
- 自衛消防隊員 合同訓練 強化

☐ 推 進

- 不 時 出 動 訓 練：4回/2回
- 消 防 官 基 礎 體 力 檢 定：190名
- 義 勇 消 防 隊 定 期 教 育：12回/6回
- 義 勇 消 防 隊 一 齊 點 檢：141個隊/141個隊
- 職 場 自 衛 消 防 隊 合 同 訓 練 強 化：12回/6回
- 廣 域 消 防 應 援 體 制 合 同 訓 練：1回/下半期 實施

忠 武 計 劃

☐ 現 況

○ 政府機能 維持分野 —— 7個 分野

(行政, 公報, 文化, 環境保全, 自體忠武,
政府機關疏散 및 移動, 住民 및 車輛統制)

- 平時 行政體制을 戰時 業務遂行體制로 轉換
- 國民生活安定 圖謀

○ 動員資源 管理分野 —— 8個 分野

(人力, 農林水產, 商工, 動力資源,
保社, 輸送, 建設, 地方財政)

- 動員資源의 效率的 統制
- 地域單位動員 支援體制 確立

☐ 方 針

- 國家 非常事態時 政府機能維持
- 迅速한 資源動員으로 軍事作戰 支援
- 國民의 生命과 財產 保護

☐ 推 進

- 忠武 計劃 審議會 開催 : 1回 / 1回
- 擔 當 者 教 育 : 3回 / 3回
- 計 劃 作 成 指 導 點 檢 : 1回 / 1回

'91 乙 支 演 習

□ 現 況

- 乙支演習 訓練 ——— 5泊6日
- 參 加 機 關 ——— 83機關
 - ・ 行 政 機 關 : 42
 - ・ 地方特別行政機關 : 15
 - ・ 團 體 契 業 體 : 26

□ 方 針

- 戰, 平時 業務 連繫 強化
- 戰時對備計劃의 實効性 檢討
- 關係要員의 戰時 行政 遂行 能力 培養

□ 推 進

- 基 本 計 劃 樹 立 : 6. 1 ~ 6. 20
- 合同計劃/統制部運營 : 6. 13 ~ 6. 22
- 事 件 計 劃 作 成 : 6. 3 ~ 6. 30
- 乙支演習 實務 教育 : 2回(7月)
- 演 習 實 施 : 8月

動員資源管理

☐ 現 況

○ 動員指定業體 —— 戰時 事變을 對備한 人力物資動員

分 野 別	指 定 業 體	指 定	
		中 央	地 方
計	227	38	189
○ 農 林 水 產	32	1	31
○ 商 工	15		15
○ 動 資	70		70
○ 保 社	28	4	24
○ 輸 送	36		36
○ 建 設	36	28	8
○ 財 務	1	1	
○ 通 信	4	4	
○ 弘 報 媒 體	5		5

☐ 方 針

- 軍事 作戰 支援 必要 資源 管理
- 機關과 業體의 協助體制 維持
- 動員 資源 確認 徹底

☐ 推 進

- 重點管理 對象業體 指定 : 227業 體
- 動 員 資 源 調 查 : 1回 / 1回
- 動 員 資 源 確 認 : 4回 / 2回
- 業 體 指 導 點 檢 : 4回 / 2回